

滝川市こども計画(案)に関する意見募集の結果

<大人からの意見>

NO.	受付日時	意 見	回 答
1	01/24 10:22:38	元々滝川市外から結婚を機に移住してきました。滝川市で子供3人を育児していますが、なかなか同年代のママ達との関わり合う機会が無かった為保育園での数少ない子供のお母さんお父さんたちが頼みの綱…。欲しい情報もなかなか掴めない。今春から子供が小学校に上がりますが不安がいっぱいです。放課後クラブのようなものもあるようですが、学校からかけ離れていると聞き自宅でのお留守番はまだ早いかないと思いつつ自宅を通り過ぎてまで行かせるのも本人が可哀想だなとも思い不安がいっぱいです。 私の家庭の場合、3人目が令和6年度に産まれました。来年度から保育園に行かせる予定なので、学期途中からにはなりますが放課後クラブに入れるのかも不安があります。また、保育園の入所に関しても兄弟のカウントは小学校を上がった子供に関してはカウントされないとのことでそれに関しても非常に残念です。子ども誰でも通園?は非常にいい案ではありますが、まずは本当に保育を必要としている家庭にも目を向けて欲しいです。	保育所および放課後児童クラブに関するご意見につきましては、現状では、なかなか入所や利用が困難な場合がありますが、この計画期間内においても職員体制の確保をはじめ、利用可能な体制の構築に努めて参ります。 また、お母さんのレスパイトケアやつながりをつくることを目的とした「母親のためのサードプレイス創造事業」をスタートしてまいります。 ご意見をいただいた様々な方面について、一つ一つ改善を進めて参りたいと考えております。
2	01/26 09:44:10	放課後の小学生の居場所が貧弱、児童館体育館もおばさんたちのサークル優先、他の市や町より子育てに対する支援が少ない。小学生や中学校はぼろぼろ。今のままだと、どんどん若い世帯は滝川市を選ばなくなるでしょう。この試みには期待したいです。子ども支援は結局、経済を潤し、市全体を元気あるものとするはずで。子どもと小さな子どもを持つ親の居場所、そこにはお年寄りがいってもよいです。孤独にしない環境を作ってください。お願いします。	ご意見をいただきました放課後のこどもの居場所につきましては、「官民連携によるこどもの居場所」づくり事業にしっかりと取り組んでまいります。 学校をはじめとする公共施設の老朽化につきましては、早急な解決は困難ですが、計画的に着実に進めてまいります。 ご意見のとおり、こどもまんなかといった考え方・取り組みが国全体でスタートしてまいりました。市としても国と歩調を合わせて進めてまいります。

3	01/27 16:42:23	子どもと市内に出かけてご飯を食べる時に室内で持ち込み OK の飲食スペースがあると友達と一緒に食べたりできていいなと思います。 子どもと食べられるスペースが少なく、外食だとハードルが高かったりするので大人も子どもも誰でも来ていいよって場所があるといいなと思いました。	子どもと一緒に過ごしやすい場所や飲食が可能なスペースにつきましては、「母親のためのサードプレイス創造事業」の中で取り組みを進めていくほか、民間でも「こどもまんなかアクション」「こどもまんなか応援サポーター」といった取り組みが進み始めておりますので、官民が協調して地域全体が子育てしやすい環境となるように取り組んでまいります。
4	01/27 16:51:41	両親どちらかが家事育児に専念しても、安心できる収入を得られる世の中に。	ご意見のとおり、国では「こども未来戦略」において、若い世代の所得を増やすことや経済的支援を強化する方針を打ち出しており、市といたしましても国の取り組みに協調して取り組んでまいります。

5	01/27 23:33:48	私は1歳の息子を育てる母親です。日頃から、支援センターでお世話になり、同じような境遇の人と出会える環境、保育士さんとの会話のありがたさ、また保健センターでの安心できる対応に本当に感謝しています。保健師さん、保育士さん、歯科衛生士さんや栄養士さん、学校の先生、市役所の職員の皆さん、子どものために思い働いてくださる皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。また、このように開示し、みなさんの意見が欲しいですと聞いてくださることに感謝します。サードプレイスの充実や、就学前の子どもを育てる母親をより支援しようという気持ちがすぐく伝わってきました。母親が支援センターを利用している割合がもちろん多いと思いますが、両親揃って子どもと利用している場合や、父親と子どもで利用している場合もあると思います。概要を見た際に、母親と限定してしまうのは、もったいないと感じました。 就学前の児童と保護者により重点が置かれているように感じました。子どもが大きくなるに連れ、センターとのつながりも薄くなっていくこともあると思います。しかし、学童期、青年期にもさまざまな課題があると思います。学校職員を増やすことや、スクールカウンセラーや心理士さん、スクールロイヤーなどさまざまな立場の人が関わり合える中で子どもが成長していけたら心強いと感じました。	サードプレイスの件では、子育て支援センターに併設する「リフレッシュスペース」や「コミュニティスペース」の部分の利用を現状では母親の利用のみと考えています。特に「リフレッシュスペース」に、男性と女性が同じスペースを使用するかどうかは、今後においてもさらなる検討が必要と考えています。 小学校就学後のこどもたちへの施策については、教育・福祉の分野を横断する施策の充実に向け、この計画の期間内においても検討を続け、できることから着実な推進を図ってまいります。
---	-------------------	---	--

6	01/29 09:12:19	重点事業1 官民連携による「子どもの第三の居場所」 重点事業2 「母親のためのサードプレイス創造事業」 とありますが、なぜ子どもだと「第三の居場所」で 母親のためだと「サードプレイス」になるのでしょうか。 用語の使い分けの趣旨が、ちょっとよくわかりません。 仮に用語説明欄を設けた場合、同じになりませんか？ また、計画のキーワードには「1st プレイス」と記されており であれば、3rd プレイスになるのか、ファーストプレイスにするのか、ちょっとモヤモヤします。 カタカナがたくさん出てくるので、コミュニティスペース なのか、コミュニティ・スペースなのか、ワークライフ バランスなのか、ワーク・ライフ・バランスなのか、 表記が不統一となっている箇所も複数見受けられますので 統一されてはいいかかと思います。	ご指摘いただいたとおり、表記の統一を図りました。
---	-------------------	--	---------------------------------

7	01/29 17:29:00	・燃えるゴミ袋の無料配布量を増やしてください。オムツで毎回パンパンです。 ・保育園に入りたい時に入れるようにしてください。仕事がしたくて4月入園の相談の時点で、求職者は限りなく入れませんと言われ傷つきました。 ・幼児のいるワンオペは病みます。親のサードプレイスもとても必要と思いますが、2ヶ月に一回でも訪問サポートが継続してあれば救われます…。 ・サードプレイスの利用目的がふわっとしててもっと明確にしてください。 ・旭川や東苗穂や発寒のイオンのような、江別のぽこあぽこのような、安全な遊び場所があって、ベンチがあればそれで気が休まるのです。。。お願いします。子どもとご飯も食べられる場所がいいです。サンマルクやタリーズくらいの価格のカフェがあれば最高です。 ・住居の手当をください。滝川市家賃上がって辛いです。子供がドタドタしても怒られないレベルの賃貸が必要なのです。 ・所長さん、市長さん、お願いします。子どもの笑顔のために、子どもの幸せのためには親が笑顔でいることです。	ご指摘をいただきましたご意見のうち、サードプレイスや子育て広場といった部分につきましては、地域子育て支援センターを開放感のある居心地のよいスペースとなることを目指して取り組んでまいります。また、この地域子育て支援センターに24時間365日育児をしている母親のレスパイトケアを目的としたリフレッシュスペースやコミュニティスペースを併設する形で、魅力ある居場所づくりを目指してまいります。 このほかの課題につきましては、「こども未来戦略」や毎年示される「こどもまんなか実行計画」などの国の施策に合わせ、対応を検討してまいります。
8	01/29 21:19:49	堅苦しいと言われても、文章を並べられてもわからないので子供のための催し物や遊び場を作るなど態度で示してください。他の近郊の市町村の方が魅力的で栄えています。見習ってください。	ご指摘をいただきました件につきましては、まずはこの計画において重点事業としている①こどもが自らやりたいことを企画し、地域の温かな大人たちがそれを支える「官民連携によるこどもの居場所」および②「母親のためのサードプレイス」において、地域子育て支援センターを開放感のある居心地のよいスペースとなることを目指して取り組んでまいります。

9	01/29 22:37:02	滝川市は子どもが室内で冬に遊ぶ場所がない。親も含め、子供達と集まる場所がない。岩見沢や旭川、江別みたいに大型な室内で遊べる場所を作って欲しい。イベントも少なく、だからといって滝川は子供に特化した支援もないため、滝川に子育て世帯が寄りつかない、楽しくない。子供も減っていくと思う。 また病院が少ない。クリニックの小児科がないため土曜日や 5 時以降に受診できない。（風邪で薬や定期的な薬をもらいにいくのが大変、働いてる人は休みをとらなきゃいけない）そもそも安心して生活できるように根本的なところを変えないと行けないと思う。	ご指摘をいただきましたこともや保護者の居場所につきましては、まずはこの計画において重点事業としている①子どもが自らやりたいことを企画し、地域の温かな大人たちがそれを支える「官民連携によるこどもの居場所」および②「母親のためのサードプレイス」において、地域子育て支援センターを開放感のある居心地のよいスペースとなることを目指して取り組んでまいります。 また、小児医療の件につきましては、通常診療の場合はそれぞれの医療機関で受診可能な時間帯で受診いただくことになりますが、急な症状・強い症状の場合は救急告示医療機関でもある滝川市立病院で受診いただき、症状等によっては砂川市立病院などを紹介させていただいております。ご理解のほどをお願いします。
---	-------------------	--	---

10	02/04 15:47:52	不登校児童の保護者です。 小学校 4 年生から不登校となり学校に入ることができなくなりました。 スクールカウンセラーが家に訪問してくれて話すうちに少しずつ心を開き、一緒にゲームをしたりしながら楽しく話せるようになり、とても助かっていたのですが… 中学生になると中学校の SC にということで、移行期間を設けてくれて慣らしながら相談を続けていたのですが、考え方のズレやアドバイスに悩むようになり、中学校の SC に相談することをやめました。 各学校に 1 人しか SC がいない状況で、相性が悪かった場合は相談できなくなっています。 他の学校の SC や、市で何人か SC がいる状況であれば他の SC に相談することも可能なのかな?と思っています。 うちの場合は小学校の SC に引き続き相談できるのが親子ともども希望でしたが…。 小学校のカウンセリングに空きがあるようなら相談できるようにしてもらえると助かる人もいると思います。 それと家から出られない不登校の子も多く、居場所を作ってもらったとしてもそこにも行けない子をどう支援していくのか、考えてもらいたいと思っています。	スクールカウンセラーの件につきましては、ご提言のとおり個別に具体的な対応を検討してまいります。つきましては、再度、教育委員会へご連絡をいただきますと幸いです。 また、現在、居場所に来られない児童生徒への対応として、「居場所」「コミュニケーションの機会」「学習できる環境」を提供するため、オンライン上の居場所づくりも検討しております。学校復帰を含めた社会的自立につなげることを目指してまいります。
----	-------------------	---	---